

若者支援部会 実務者会議 資料

機関・団体名	若者支援（ニートやひきこもり）について困難や問題と 感じていること。検討や改善事項
三条警察署	ニートやひきこもりについては、ほとんど稼働せず家族も相当な負担を負わされている。 このような状況から、家族が本人に注意指導を行う場合、反論できずに家族に対し暴力を振るうケースが散見されるので、充実した支援を行う必要がある。
三条地区 保護司会	大人もしくは親の価値観を子どもに押し付ける傾向があると思う。 成果主義というか結果がすべてのように判断され、少しでも悪ければその子どもの人格すら否定されることが多いように思います。結果も大事ですが、その経過も重要と考えられ、時には結果が悪くても長い目で対応してほしいと願っている。 「生きるための夢」ではなく「夢のために生きる」という子どもの立場からその子の将来を考えてほしいと思う。
新潟少年鑑別所	少年鑑別所入所者のうち、無職少年の割合は例年 4 割前後で推移している。 それがそのままニートに該当するわけではないが、中途退学や卒業で学校を離れ、その後、仕事をせず求職活動もせず、求職の希望すらなく、気安い仲間内でのせつなな生活の中で非行に向かう少年もいる。 こうした少年に対して少年鑑別所内では、職業適性検査の実施とフィードバック、視聴覚教材等の視聴、求人情報の提供等を通してできる範囲で就労への動機付けを図っているところである。 ただし、技能やコミュニケーションスキルを持たない中卒者、高校中退者等の求職環境は非常に厳しく、その日暮らしの労務作業をずるずるとせざるを得ない現実があり、社会に受け皿が非常に乏しいのがわかっていながら就労意欲を喚起しようとする事への矛盾も感じる場所である。
三条地域若者 サポートステーション	滞留者（一般就労が困難と思われる方）の行き先について。 ・ 入口はあるが出口がない状況。 ・ 就労のトレーニングとなる場所の確保。
三条市青少年 指導委員会	もっと両親は子供とコミュニケーションをとってもらいたい。 今現在子供のおかれている立場をもっと理解するようにお願いしたい。

機関・団体名	若者支援（ニートやひきこもり）について困難や問題と感じていること。検討や改善事項
三条地域振興局 健康福祉環境部	・ 高校以降の相談窓口が少ない。 当部でも20代～30代で「親子関係が悪い」「年齢相応の社会参加がない」「対人関係能力が低い」という事例の相談が散見されるが、相談継続していても限界を感じる。 ・ 必要な資源として 1. 同年代の人間関係をトレーニングする場（精神科デイケアのようなもの） 2. ジョブコーチ 3. 就労意欲の低い人も多く、現実的な就労イメージを持てる支援障害者の支援体制と同様な資源が必要と思います。
三条市 勤労青少年ホーム	①各支援団体が実施している守備範囲などの一覧表を作成したり、情報交換をしたらいかがでしょうか。 ②その団体の得意とする支援範囲（分野）など、お互いに顔のわかる関係づくりを進めたらよいのではないのでしょうか。